# 障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

### 【基本情報】

E 1 112 1162						
フリガナ	ከፓ' ኦɨħ' イዖɨŋヤe'					
法人名	法人名					
フリガナ	フリガナ カゼ ^ルバーステーショントヨアケ					
事業所名	事業所名 風ヘルパーステーション豊明					
提供サービス(複数のサービスを	提供している場合は、主たる1つのみ選択)					
居宅介護						
職員数(常動換算数) 【「全職員の月間動務時間数」/「常動職員の月間動務時間数」にて算出(産体・育休、休職は除く)】						
4.7 人						
ICT機器等導入完了目	ICT機器等導入完了日 令和6年2月7日					

### ※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

(1) - 1	(1) 1) 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				
業務内容	ICT機器等の導入・活用状況				
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)				
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)				
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)				
勤怠管理	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)				
シフト表作成	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)				
給与業務	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)				

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

### (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	ノートPC Lenovo Yoga 7i Gen 8 : スタンダード	5	

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
- 情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化 (請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生作 A.ひと月当たり 発生件数	+数 B.年間発生件数 (A×12)	C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
①支援記録の作成	2 人	80 件	960 件	10 分	160 時間	80 時間	
①支援記録の作成	2 人	30 件	360 件	10 分	60 時間	30 時間	
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件	[	0 時間		
		110 件	1,320 件		220 時間	110 時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下のimes 1及びimes 2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

契約ご利用者様・支援件数が80件=毎月のモニタリング件数

契約ご利用者様・支援件数が80件のうち、超過勤務になる予実管理業務が30件

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

事務所に戻る平均移動時間5分、業務作業時間5分

#### ② ICT機架等道 3 ※の業務時間内記

② 101版鉛等等八板の未扱	② 101 (機能等等八後の未務時間的) ( )							
		発生作	件数 C. 1件当たりの		年間業務時間	1人あたり		
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	- U D 在門25.件/#	D (B×C)		備考		
		発生件数	(A×12)	1 370 21 310	- (/	(D/業務従事者数)		
①支援記録の作成	5 人	80 件	960 件	9分	144 時間	29 時間		
①支援記録の作成	2 人	30 件	360 件	7分	42 時間	21 時間		
			0 件		0 時間			
			0 件		0 時間			
			0 件		0 時間			
		110 件	1,320 件	16 分	186 時間	50 時間		

<sup>※「</sup>具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

契約ご利用者様・支援件数が80件=毎月のモニタリング件数

契約ご利用者様・支援件数が80件のうち、超過勤務になる予実管理業務が30件

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

外出先で業務できる為事務所に戻る平均移動時間5分が無くなったが、機器不慣れやコンパクト機器に変わったことで中年スタッフの老眼などで効率が上がらず業務作業時間が7~9分。非常勤ス タッフにも外出先での作業もトライ中であるが機器不慣れや不満もある。まだまだ効果には時間がかかりそうである。

### 年間業務時間数削減率(%)

15.5%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

## ③ ICT機器等導入前の作成文書量

	作成文書量		
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)	
		0ページ	
		0 ページ	
		0 ページ	
	0ページ	0ページ	

### ④ ICT機器等導入後の作成文書量

9				
	作成文書量			
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量		
		(A × 12)		
		0 ページ		
		0 ページ		
		0 ページ		
	0ページ	0ページ		

年間作成文書量削減率(%)

#DIV/0!

(	4	) IC	T機器	等の	導力	入効果
---	---	------	-----	----	----	-----

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

個別で操作方法やシステムの説明を行ってきた。

機器が変わる事によって中年職員の機器への対応に時間がかかり、老眼で見にくいなど不平不満もあり、別で大型ディスプレイを導入した。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。 また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)	
情報端末導入による効果	ソフトウェア <b>導入による</b> 効果
□ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。	□ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☑ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	□ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
□ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。	□ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
□ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	□ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 5 その他の効果があった。	□ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 6 効果がなかった。	□ 6 その他の効果があった。
	□ 7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。	※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。
事務所内での作業時間が2~3時間減った	
③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況	
現在も課題だが、機器が変わる事によって中年職員の機器への対応に時間がかかる。	
補助金導入に関する作業内容だけ見ると、多少の効率化は見られるが、使いづらいなと	の不満やストレスから考えると全体的な部分で効率化されたのか疑問が残る。

大型デイスプレイを別で導入し環境改善を図ったが、実際に手ごたえを感じるのはまだまだ時間がかかると思われる。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、 具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

まとまった時間までは確保できておらず、できるのももう少し先になると思われる。そうなった際には時間に余裕ができる事によってスキルアップに繋がる時間に充てられるようになったり、 超過勤務の縮減によるストレス軽減に繋げられる。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

(3)101成品サッチバによる負用面での効木	
ICT機器等の導入による費用の縮減	<del>==</del>

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(\*/ 1 \	「その他職場環境の改善への充当」	の中南について	日体がに司井してくがよい
(※1)	「ての他戦場県の以告への九ヨ」	の内谷について、	呉仲的に記載してくたさい。

(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。	